

令和2年度 第2回 「宇都宮市子ども・子育て会議」 議事録

1. 日 時 令和2年8月25日（火） 午後1時15分～

2. 場 所 宇都宮市役所 14階 14大会議室

3. 議事

【協議事項】

保育所等の認可及び利用定員の設定について

【報告事項】

「(仮称) 第2期宇都宮市障がい児福祉サービス計画」の策定について

「親と子どもの居場所づくり事業」の実施について

「子どもの貧困対策」及び「子どもの権利」の周知啓発について

新型コロナウイルス感染症対策に係る本市の支援策について

4. その他

5. 出席者（委員：24名，事務局：28名，計：52名）

【委 員】

青木章彦会長，関口浩副会長，石井由貴委員，青木克介委員，栗田幹晴委員，
釧持幸子委員，福田清美委員，佐々木佳子委員，大島一夫委員，荒川智篤委員，
松本清美委員，稲川康代委員，今井恭男委員，鈴木克伸委員，菅谷毅委員，
福田哲夫委員，倉益章委員，坂本登委員，河田隆委員，小平美智雄委員，
浅木一希委員，福田篤史委員，落合幸子委員，大類鮎美委員

【事 務 局】

〔子ども部〕 埜部長，渡辺次長

〔子ども未来課〕 田邊課長，綱川所長，亀澤課長補佐，川嶋係長，高木係長，若井総括，
川村総括，大塚主事，小田桐主事

〔子ども家庭課〕 富山課長，谷黒室長，坂和課長補佐，湯澤総括

〔保育課〕 吉澤課長，大久保課長補佐，坂入副主幹，横山係長，齋藤係長，佐々木係長，
熊谷総括

〔子ども発達センター〕 舘野副所長，藤枝総括，長瀬係長，飛田係長，石井総括

〔生涯学習課〕 秋山課長，大嶋係長

〔障がい福祉課〕 中澤係長，諏訪主事

6. 公開・非公開の別 公開

7. 傍聴者数 0名

発言者	内 容
事務局	<p>1 開会 会議の公開について決定</p> <p>2 議事 (1) 保育所等の認可及び利用定員の設定について</p> <p>(事務局説明)</p>
会長	<p>質問・意見等はあるか。</p>
委員	<p>陽南幼稚園については、現在も運営されている施設であるが、現在と比較した定員の増減はどうなっているのか。また、東部区域への施設の整備予定はあるのか。</p>
事務局	<p>陽南幼稚園については、現在の定員が約280名であるが今回の施設整備により定員が200名の幼保連携型認定こども園へ移行するものである。定員が減る要因としては、現在が3～5歳児のみを預かる施設であるが、空き教室を利用して0～2歳児も預かることができる施設となることや、設置基準を満たす必要があるということが挙げられる。補足だが、保育士が確保されれば、255名まで定員を引き上げることができる施設面積となっている。</p> <p>また、東部区域への施設の整備については、認定こども園への移行を希望する施設を公募するとともに、必要に応じて認可保育所の新設についても検討していく。</p>
会長	<p>他に、質問・意見等はないか。</p> <p>(質問・意見等なし)</p>
事務局	<p>3 その他 (1) 「(仮称)第2期宇都宮市障がい児福祉サービス計画」の策定について</p> <p>(事務局説明)</p>
会長	<p>質問・意見等はあるか。</p>

会長	今回は今年度新たに策定する計画の目的や位置付け、スケジュール等の概要の説明であり、具体的な計画内容は次回以降に提示されるという認識でよいか。
事務局	その通りである。
会長	他に、質問・意見等はないか。 (質問・意見等なし)
事務局	(2) 「親と子どもの居場所づくり事業」の実施について (事務局説明)
会長	質問・意見等はあるか。
委員	資料3の2居場所の概要等のうち、利用申込について「利用希望者が各施設運営団体に直接利用申し込み」と記載されているが、関係性の貧困に陥っている状態の親が子どものために積極的に居場所への利用申し込みをすることは想定しにくいと考えるが、市としてどのように考えているのか。 学校の先生から見て、子どもをどうにかしてあげたいが、親が子どもに興味がないなどの事例が多いと聞いているので、まずは学校の先生など子どもを近くで見ている人たちから、子どもを居場所につなげてもらい、後から親を巻き込めるような仕組みを考えほしい。
事務局	親と子どもの居場所づくり事業については、学校、育成会、自治会などへのチラシの配布等により幅広く周知を行っていきたいと考えている。児童や家庭への周知については、学校から各児童にチラシを配布することにより各家庭への周知につなげていきたい。理想としては、親子そろって居場所に来てくれることであるが、委員がおっしゃるように、学校での周知の際にまずは子どもたちに知ってもらい、子どもが一人で居場所に来て、後から親とつながるという仕組みも想定している。
委員	将来的に、市内にどの程度居場所を整備していくのか。

事務局	現時点では、最終的にどの程度まで居場所を整備していくのかは決ま っていない。今回のモデル事業を進める中で、居場所を利用した人の 人数やどのような事業内容が必要かなどについて、データを集め将来 的な居場所のあり方の検討につなげていきたい。
委員	事業の周知について、自治会にチラシを配布するとのことであるが、 回覧での配布はすべての人に必ず行き渡っているかという疑問で あるため、注意しながら行ってほしい。 また、豊郷地区でも地区独自で子どもの居場所を作れないかと検討を 行っているが、課題が多い。特に、居場所に行くことにより、地域で 良くない噂が流れるのではないかと、周囲の目が気になるなどの声が多 いので、本当に利用したい人が利用しづらくなならないよう、十分に注 意しながら事業を進めてほしい。
事務局	委員がおっしゃったように、最も避けなければならないのは、支援を 必要としていて居場所を利用したい人が利用しにくい環境になっ てしまうことであることから、周知の際には「貧困」というワードを使 わないようにするなど、細心の注意を払いながら事業を進めていき たい。
委員	親と子どもの居場所と似たような施設として子ども食堂があるが、市 内の子ども食堂の個所数は把握しているか。
事務局	全ての施設を把握できているわけではないが、現時点で15、6カ所 の子ども食堂については把握できている。
委員	新聞等の報道を見ているとこの居場所のような施設を利用したいと 考える親子はかなり多いのではないかと。まずはモデルとして2カ所 実施するとのことだが、だれもが利用しやすい雰囲気にするのが重 要であるとともに、人が溢れてしまったときにどのように対応する かなどについても予め検討しておいてほしい。
委員	周知する先として民生委員児童委員協議会も候補に入れてはどうか。 また、現在の子どもの家に居場所のような機能を持たせることも選択 肢の一つだと思うので検討してほしい。
事務局	地域に根差している民生委員児童委員協議会の委員さんにも是非ご 協力をお願いしたい。民生委員児童委員協議会にも適宜情報提供させ

<p>会長</p>	<p>ていただく。</p> <p>他に、質問・意見等はないか。</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>(3) 「子どもの貧困対策」及び「子どもの権利」の周知啓発について</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務局説明)</p>
<p>会長</p>	<p>質問・意見等はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>別紙4の3関係性の貧困を防ぐために大切な5つのことのうち①から④は親に対してこうしてほしいという内容になっており、親がプレッシャーに感じてしまうのではないか。子育てについて、親だけで抱え込まなくてもいい、先ほど説明のあった親と子どもの居場所といった地域資源なども活用しながら地域全体で取り組んでいきたいと思いますというメッセージを入れられないか。</p>
<p>委員</p>	<p>①に「点数や成績にこだわらず、頑張りを認めてあげる言葉をかけていますか？」とあるが、学習だけではなく日常生活全般を通して、ささやかでもいいので子どものいいところ、頑張ったことを認めてあげることが必要なのではないか。</p> <p>また、④に「親が子どもに関心を持って、愛情を与えること」とあるが、関係性の貧困にあるすべての親子の間で、親から子に愛情が注がれていないと誤解されないようにしてほしい。関係性の貧困にある親子でも、親から伝えられる愛情が子どもにとっては少し窮屈に感じてしまうなど、愛情表現がうまくできないだけで、子どもに愛情を注いでいる、注ぎたいと考えている親はたくさんいると考える。このパンフレットを見た親が自分を責めることが無いよう、また、前向きな気持ちになれるようなパンフレットにしてほしい。</p> <p>また、子供を叱ることについて、子どもが危険な目にあってしまうときなど、叱ることが必要な場合もあると考えるので、なんでもかんでも叱ってはダメではなく、それぞれの場合におけるアドバイスのような形で親に伝えられれば良いのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>別紙4の3関係性の貧困を防ぐために大切な5つのことの表現につ</p>

	<p>いて、全て親に問いかける形式となっているが、パンフレットの主旨が関係性の貧困の防止であるのであれば、問いかけではなく、こうすることで防止できる、子どもたちにいい影響があるというように、前向きに捉えられ、実践しやすくなるような表現の方が良いのではないか。</p>
委員	<p>別紙4の3 関係性の貧困を防ぐために大切な5つのことのうち②に「子どもがやりたいこと（部活動や習い事など）ができるよう心がけていますか？」とあるが、関係性の貧困にある家庭には経済的貧困にある家庭もあることから、やらせてあげたいがやらせてあげられない家庭も多いと考える。そこで、②の表現については、子どもがやりたいことや興味があることを知りましょう、子どもと一緒に興味を持てるように心がけましょうというような表現にできればよいのではないか。</p>
事務局	<p>パンフレットを配布することで子育て中の親に過度なプレッシャーを与えてしまわないよう、各委員からいただいた意見を参考に内容を修正するとともに、配布先についてもよく検討した上で、パンフレットを効果的に活用できるよう進めてまいりたい。</p>
会長	<p>他に、質問・意見等はないか。</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染症対策に係る本市の支援策について</p>
事務局	<p>(事務局説明)</p>
会長	<p>質問・意見等はあるか。</p> <p>(質問・意見なし)</p>
事務局	<p>4 閉会</p> <p>以上で、第2回宇都宮市子ども・子育て会議を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>